

薩摩川内市教育振興基本計画

(令和2年度～令和6年度)

～ ふるさを愛し

心豊かにたくましく生きる

薩摩川内のひとづくり ～



令和2年5月
薩摩川内市教育委員会



薩摩川内市民憲章

美しい自然と、古い歴史を誇りとする
わたしたち薩摩川内市民は、

やさしくすれば、心はかよう。
はなしをすれば、だれでもわかる。
考えさえすれば、みちはひらける。
やりさえすれば、かならずできる。

という信条をもって
明るく豊かなまちをつくれます。

薩摩川内市民が、こぞって明るく豊かなまちづくりを目指し、市民一人ひとりが生活指標として愛していただきたいとの願いをこめています。

平成17年1月1日
制定

市章、市木、市花、市鳥、市魚

市章

(平成17年1月1日制定)

薩摩川内市の頭文字のSと川内川の形状を組み合わせたデザインです。

緑は田園と山々の自然のやすらぎを、青は海、川、湖など水のうるおいを表わしています。

広い面積を有する薩摩川内市が一体となって地域力・都市力を発揮し、明るい未来に向けて力強く躍動する姿を表現したものです。



市木

(平成17年2月13日制定)

クログネモチ (もちのき科)

『高く伸びる木・常緑の葉は、市の発展を象徴』

本市の山野に分布する常緑樹で、樹姿は雄大、樹性は強健です。通称「実つぎ」と呼ばれ、11月から3月まで枝いっぱいに赤い実をつけ、美観をそえます。

また、この木を群植したときは、この実を求めて多くの鳥類が集まります。

粘り強くたくましく成長する姿は、市勢の発展を、集まる小鳥のイメージは、市民の融和を表現しています。



市花

(平成17年2月13日制定)

カノコユリ

『初夏に咲くピンクの花は、市民の優雅さと情熱を、そのたくましい生命力は、市民の活力を象徴』

カノコユリの原産地は日本と台湾で、特に、本市に存する甌島は、「鹿の子ゆりのふるさと」として、道路端や山間部のいたる所に自生しています。

カノコユリの名前の由来は、桃紅地に濃厚な斑点の対比を、「鹿の子しぼり」にたとえて、江戸時代の愛好家が名付けたものと伝えられています。

欧米でも、その美しさゆえに人々を魅了し、現在も愛され続けています。



市鳥 (平成17年2月13日制定)

メジロ (スズメ目メジロ科)

『甲高く活気あふれる鳴き声は、市民の力強さと明朗性を象徴』

本市では、「ハナシ」と呼ばれていますが、雀より小さい日本特産の樹上性の保護鳥です。昔から、高音で響くさえずりが好まれ、姿も極めて愛らしく、飼鳥として知られています。

樹木の小昆虫類をはじめ、アブラムシ、貝殻虫、蛾類を食べ、森林の害虫駆除の上からも極めて有益な鳥です。



市魚 (川) (平成17年2月13日制定)

アユ

『激流ともいえる流れの早い流心に定位する姿は、何事にも負けない不屈の精神を、また、集団で行動する姿は、市民の協調融和の精神を象徴』

背側は青みがかったオリーブ色、腹側は銀白色で、長く立派な背びれが印象的な魚です。

中国や朝鮮半島の一部にも生息していますが、その量は少なく、日本固有といってもいいようです。

アユは淡水魚というイメージがありますが、実際は冬に生まれ、海で越冬した後、川を上ってきて、秋まで生きる1年魚です。

川に入ったアユは、川底の石につく珪藻類を食べ、生息しています。



市魚 (海) (平成17年2月13日制定)

キビナゴ

『小さな体ですばやく回遊する姿は、市民の力強さと明朗性を、美しい姿は、市民の豊かな心を象徴』

体側に美しい銀色と青の帯を持つ小さな魚です。産卵期である春先に多く取れたことから、昔は、肥料やカツオ・タイの一本釣り用の餌として利用されていました。しかし、DHAやEPAなどの不飽和脂肪酸を多く含むことから、健康食品としての人気が高く、特に産地である鹿児島県では人気が高いです。



薩摩川内市教育振興基本計画

～ふるさとを愛し 心豊かにたくましく生きる 薩摩川内のひとづくり～

目 次

はじめに

第1章 計画策定の趣旨	1
1 計画策定の背景と趣旨	1
2 計画の位置づけと性格	1
3 計画の期間	2
第2章 薩摩川内市の教育をめぐる現状と課題	3
I 薩摩川内市の現状と課題	3
II 学校教育における現状と課題	4
1 児童生徒数の推移と学校規模	4
2 小中一貫教育	4
(1) 全中学校区における小中一貫教育の状況	
(2) ふるさと教育と「ふるさと・コミュニケーション科」の状況	
(3) 英語力向上プラン事業の状況	
(4) コミュニティ・スクールの状況	
3 児童生徒の確かな学力等	5
(1) 学力の状況	
ア 標準学力検査〔NRT〕（小学1年を除く全学年対象）	
イ 全国学力・学習状況調査（小学6年・中学3年を対象）	
ウ 鹿児島学習定着度調査（小学5年、中学1・2年を対象）	
(2) 家庭学習の状況	
(3) ICT活用の状況	
4 児童生徒の生徒指導等	8
(1) 規範意識の状況	
(2) いじめの状況	
(3) 不登校の状況	
(4) 問題行動等の状況	

5 児童生徒の健康・体力等	10
(1) 基本的な生活習慣の状況	
ア 朝食欠食について	
イ 就寝時刻について	
ウ 電子機器（スマートフォンやゲーム等）の使用時間について	
(2) 体力・運動能力の状況	
ア 体力・運動能力について	
イ 児童生徒の運動時間について	
(3) 学校保健の状況	
ア 歯と口の健康について	
イ 肥満・痩身について	
(4) 学校安全・防災の状況	
ア 安全教育について	
イ 児童生徒の通学路の安全確保について	
ウ 自転車使用時の安全について	
(5) 食育の状況	
ア 食に関する指導について	
イ 食物アレルギーについて	
6 特別支援教育	13
(1) 就学指導の状況	
(2) 特別支援教育の状況	
7 幼児教育	15
(1) 市立幼稚園の園児数の推移	
(2) 子育て支援の状況	
(3) 幼保小連携による幼児教育の状況	
8 学校給食	16
(1) 学校給食の状況	
(2) 学校給食における地場産物の状況	
9 学校における業務改善	17
(1) 学校における業務改善の必要性	
(2) 業務改善の状況	
10 教育環境の整備	17
(1) 校舎等	
(2) 教材・教具	
11 保護者への経済的支援	18
(1) 就学援助等	
(2) 奨学育英事業等	
(3) 通学支援	

Ⅲ 社会教育・生涯学習における現状と課題	19
1 家庭と地域の教育力	19
2 青少年	20
(1) 青少年の健全育成	
(2) 「少年自然の家」での青少年活動	
3 生涯学習	22
(1) 学習活動	
(2) 生涯学習環境	
(3) 人材育成	
4 図書館運営、読書活動	23
Ⅳ 文化・芸術面における現状と課題	24
1 文化財	24
2 芸術文化・地域文化活動	25
第3章 薩摩川内市がめざす教育の姿	26
薩摩川内市教育振興基本計画の体系	
第4章 今後の5年間に取り組むべき施策	29
I 未来をたくましく生きる力を育む教育の推進	29
1 小中一貫教育の充実	29
(1) 全中学校区における小中一貫教育の充実	
(2) ふるさと教育と「ふるさと・コミュニケーション科」の充実	
(3) 英語力向上プラン事業の充実	
ア 英語サマーキャンプの実施	
イ 中学校英語発表会の実施	
ウ 英語検定試験の支援	
(4) コミュニティ・スクールの充実	
ア 学校関係者評価の機能の充実	
イ 地域と共に創るコミュニティ・スクールの充実	
2 知・徳・体の調和のとれた生きる力を育む教育の推進	30
(1) 確かな学力の育成	
ア 学ぶ楽しさや喜びを味わう授業づくり	
イ 家庭学習の充実	
ウ ICT活用の充実	
(2) 心の教育の推進	
ア 規範意識を高めるための対応	
イ いじめ問題への対応	

- ウ 不登校への対応
- エ 問題行動等への対応
- (3) たくましい体の育成
 - ア 基本的生活習慣の確立
 - イ 体力・運動能力の向上
 - ウ 学校保健の充実
 - エ 学校安全・防災の充実
 - オ 食育の充実
- (4) 特別支援教育の充実
 - ア 計画的な教育相談や教育支援員会の実施
 - イ 個別の指導計画、個別の教育支援計画の作成と活用
 - ウ 特別支援教育支援員の効果的な配置
 - エ 移行支援シートの作成
- (5) 幼児教育の充実
 - ア 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を踏まえた教育課程の編成
 - イ 計画的な交流活動の実施
 - ウ 幼小連携の推進
- (6) 学校給食の充実
 - ア 学校給食の管理、運営体制の整備
 - イ 安全・安心な学校給食の充実
- (7) 学校における業務改善の推進
- (8) 教職員の資質・指導力の向上
 - ア 校内研修の充実
 - イ 外部研修会への参加
 - ウ 指導主事と各学校との連携
- (9) 高等学校との連携
- (10) 鹿児島純心女子大学との連携
- 3 教育環境の充実 39**
- (1) 学校等の再編
- (2) 教材・教具及びICT関連設備の整備
 - ア 教材・教具
 - イ 学校図書
 - ウ ICT関連機器の整備
- (3) 保護者への経済的支援
 - ア 就学援助の充実
 - イ 奨学資金制度等の周知と積極的な活用と推進
 - ウ 通学支援
- (4) 校舎等の整備

II	地域全体で子供を守り育てる環境づくりの推進	41
1	家庭の教育力の向上	41
	(1) 家庭教育学級の充実	
	(2) 子育てサロンの充実	
	(3) P T Aや子ども会活動の充実	
2	地域の教育力の向上	42
	(1) 学校支援ボランティア事業の充実	
	(2) 放課後の子供たちの安全・安心の確保	
	(3) 「青少年育成の日」と「家庭の日」の取組の充実	
3	指導者の指導力向上	42
	(1) 指導者養成研修会の充実	
	(2) 青少年育成者の連携・交流	
4	総合的なネットワークの連携強化	43
	(1) 青少年の健全育成	
	ア 青少年育成市民会議活動の充実	
	イ 青少年フレッシュ体験事業	
	(2) 少年愛護センター活動の推進	
5	「少年自然の家」における青少年教育・生涯学習の充実	43
	(1) 「少年自然の家」における活動の充実	
	ア 野外活動事業	
	イ 自然体験事業	
	ウ ものづくり事業	
	エ プラネタリウム活用事業	
	オ 集団宿泊学習を始めとする学校教育を補完する事業	
	(2) 「少年自然の家」の効果的な活用	
	ア 主催事業	
	イ 受入指導等	
	ウ 自主学級や学習グループ	
	エ 施設の整備充実	
	(3) 「少年自然の家」における青少年指導者の育成	
III	生涯学習の充実をめざす環境づくりの推進	45
1	生涯学習の展開	45
	公民館等における生涯学習の充実	
2	図書館機能の充実と読書活動の推進	46
	(1) 市民に親しまれる図書館運営	
	ア 図書館資料の整備・充実	

イ	図書館サービスの充実	
ウ	読書環境づくり	
(2)	読書活動の推進	
ア	事業の開催	
イ	読書活動の充実	
(3)	機材（16ミリ等）・教材（DVD等）の活用による利用促進	
3	生涯学習を進めるコーディネート機能の充実	47
(1)	人材バンク等の活用	
(2)	わくわく薩摩川内土曜塾の充実	
IV	誇りと愛着のある地域文化の保存・継承・活用	47
1	文化財等の保存・継承・活用	47
(1)	清色城跡や入来麓伝統的建造物群保存地区等の活用	
(2)	甑島の各種文化財等の活用	
(3)	天辰寺前古墳と川内川流域の古墳等の活用	
(4)	川内大綱引の保存・活用	
2	文化財愛護意識の高揚	48
3	文化財の総合的な保存・活用	48
4	文化活動の推進	49
(1)	文化・芸術活動を発表する場の提供	
(2)	地域文化の継承・発展	
第5章	計画の推進と目標の実現に向けて	50
1	学校・家庭・地域社会の連携及び役割	50
(1)	学校の役割	
(2)	家庭の役割	
(3)	地域社会の役割	
2	教育委員会（行政）の役割	50
(1)	計画推進体制の確立	
(2)	高等教育機関との連携強化	
(3)	各事業の点検・評価及び見直し	